

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 7 月 2 日

石川県知事 馳 浩 殿

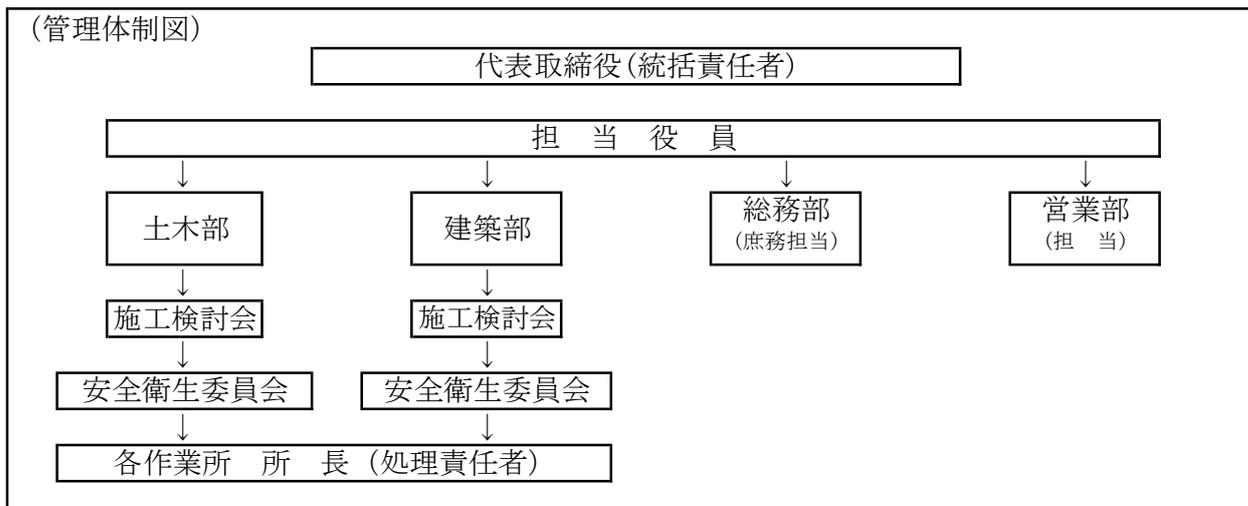
提出者 石川県輪島市河井町6部35番地  
住所 株式会社 宮地組  
氏名 代表取締役 宮地 雄大  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0768-22-1281

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 宮地組
事業場の所在地	石川県輪島市河井町6部35番地
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	1,716,065千円
③ 従業員数	55名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	作業所において分別、収集運搬許可業者との委託契約を書面で交わし産業廃棄物適正処理業者(許可業者)との委託契約を書面で交わし、適正に処理する。また、出来だけ電子契約・電子マニフェストを活用して行く。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙を参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙を参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"><li>* がれき類・・・ 有筋・無筋コンクリートの分別 (アスファルト・コンクリート)</li><li>* 木くず・・・ 伐採木・伐根の分別</li><li>* 廃プラ・・・ 塩ビ・石綿含有物(Pタイル等)の分別</li><li>* 混合・・・ コンテナ設置数を増やし、金属・がれき類(コンクリート・アスファルト)木くず等リサイクル製品になりやすい物を極力同じコンテナに入れる。</li><li>* 金属くず・石膏ボード・・・ 専用コンテナの設置</li><li>* 上記以外のガラス・陶磁器類他・・・ 作業所のスペースによって各種廃棄物を入れるコンテナを極力設置している。</li></ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"><li>* 現状の取り組みをより徹底する。</li><li>* 混合廃棄物の発生抑制。</li><li>* 適切なコンテナの設置。</li><li>* 下請けへ(代表者及び従業員)の教育・及び意識の高揚。</li><li>* 作業所に於ける新規入場者教育時に分別排出指導。</li><li>* 電子マニフェストを活用して正確に、かつ迅速に記録する。</li></ul>

(第2面 別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	前年度実績	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	紙くず・繊維くず	石膏ボード	金属くず
		排出量	749.80 t	773.14 t	4.60 t	0.46 t	1.36 t	5.30 t
		(これまでに実施した取組) *関係法令・規則の遵守で処理(すべての廃棄物)						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>発注者との打ち合わせを徹底し、適正数量での施工管理の徹底</li> <li>作業所への持ち込み材料など下請けとの作業数量(使用材料)の確認</li> <li>同種工事間での材料一括発注により無駄を省く、持ち込み材料の梱包材を減少させるよう下請け業者への依頼</li> <li>分別に努め、混合廃棄物にならない様に努めている</li> </ul>						
②計画	目標	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	紙くず・繊維くず	石膏ボード	金属くず
		排出量	1,000.00 t	600.00 t	20.00 t	0.50 t	5.00 t	20.00 t
		(今後実施する予定の取組)						
		<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の取り組みの徹底・リサイクル化を推進</li> <li>民間工事(建築)に於ける設計者等との排出抑制の打ち合わせを密に行う</li> <li>持ち込み材料の梱包材を減少させるよう下請け業者への依頼</li> <li>特定の種類では高い確率でリサイクルとなっているので、今後も分別に努める</li> </ul>						

①現状	前年度実績	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	ガラス・陶磁器くず	建設汚泥	石綿含有産業廃棄物	
		排出量	31.36 t	0.27 t	0.00 t	9.09 t	
		(これまでに実施した取組) *関係法令・規則の遵守で処理(すべての廃棄物)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>作業所のスペースにもよるが、コンテナを出来るだけ用意しリサイクルするよう分別している。</li> <li>分別を徹底し、リサイクルするように努め、混合廃棄物に混入しないようにする。</li> </ul>					
②計画	目標	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	ガラス・陶磁器くず	建設汚泥	石綿含有産業廃棄物	
		排出量	60.00 t	2.00 t	0.00 t	5.00 t	
		(今後実施する予定の取組)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、コンテナの数を増やし、出来るだけ分別排出に努める。</li> <li>分別を徹底し、混合廃棄物に混入しないようにする。</li> </ul>					

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  *該当無し		
②計画	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  *該当無し		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)  *該当無し			
②計画	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)  *該当無し			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<b>*該当無し</b>			
②計画	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<b>*該当無し</b>			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	749.80 t	773.14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	680.07 t	299.05 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	474.09 t
	(これまでに実施した取組)		
* 適正処理業者(許可業者)との書面をもって契約を交わしている。			
* リサイクルの推進を依頼			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず・繊維くず
	全処理委託量	4.60 t	0.46 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	4.28 t	0.46 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
* 適正処理業者(許可業者)との書面をもって契約を交わしている。			
* リサイクルの推進を依頼			
①現状	【前年度（平成 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	金属くず
	全処理委託量	1.36 t	5.30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	1.36 t	5.30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
* 適正処理業者(許可業者)との書面をもって契約を交わしている。			
* リサイクルの推進を依頼			
【前年度（令和 5 年度）実績】			

①現状	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	31.36 t	0.27 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	25.61 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
(これまでに実施した取組) * 適正処理業者(許可業者)との書面をもって契約を交わしている。 * リサイクルの推進を依頼			
①現状	<b>【前年度(令和5年度)実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	石綿・廃油	建設汚泥
	全処理委託量	9.09 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	
(これまでに実施した取組) * 適正処理業者(許可業者)との書面をもって契約を交わしている。 * リサイクルの推進を依頼			

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	1,000.00 t	600.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	907.00 t	372.90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	227.10 t
(今後実施する予定の取組)			
* 現状の徹底と優良選定処理業者・熱回収を行う業者への依頼。			
※ 事務処理欄			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず・繊維くず
	全処理委託量	20.00 t	0.50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	20.00 t	0.50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の取組)			
* 現状の徹底と優良選定処理業者・熱回収を行う業者への依頼。			
※ 事務処理欄			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	金属くず
	全処理委託量	5.00 t	20.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	5.00 t	20.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の取組)			
* 現状の徹底と優良選定処理業者・熱回収を行う業者への依頼。			
※ 事務処理欄			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	60.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	51.00 t	2.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の取組)			
* 現状の徹底と優良選定処理業者・熱回収を行う業者への依頼。			
※ 事務処理欄			
<b>【目標】</b>			

②計画	産業廃棄物の種類	石綿・廃油	建設汚泥
	全処理委託量	5.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の取組) * 現状の徹底と優良選定処理業者・熱回収を行う業者への依頼。			
※ 事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。